

科目

家庭基礎

教科	家庭	学科・学年	全学科・1年	単位数	2
教科書	家庭基礎 自立・共生・創造 (2 東書 家基 701)				
副教材	2022最新 生活ハンドブック 資料&成分表				

どんな科目？

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指します。

学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎知識と技能を身につける。また、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見だし、課題を設定し解決する力を養う。さらに、様々な人々と協働し、自分や家庭、地域の生活の充実と向上を図る実践的態度を養う。

学習の計画及び評価方法等

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	評価の観点		
				知	思	主
1 学期	4	家庭科ガイダンス ホームプロジェクトと学校家庭 クラブ活動	・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と 実施方法について理解する。		○	
	5	第1章生涯を見通す 第2章人生をつくる	・生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し、歩 みたい人生の目標を描く。		○	○
	6	第7章衣生活をつくる	・家庭や地域のよりよい生活を創造できるよう、仕事と 家庭の両立や家庭生活と地域の結びつきを理解する。	○		
	7	ホームプロジェクト（実践）	・被服材料や性能を知り、被服管理を理解し工夫できる。 ・自己の生活上の課題を設定し解決方法や計画を立て、 実践する。	○	○	○
2 学期	9	ホームプロジェクト（発表） 第3章子どもと共に育つ	・生活課題を解決する手立てについて理解を深める。 ・子どもの心身の発達を理解し、適切に関われる態度を 身につけ、子どもの生活環境や衣食住を考えられる。	○		○
	10	第4章超高齢社会を共に生きる	・加齢に伴う心身の変化、高齢期を支える社会の仕組み や課題を理解し、適切な支援方法や関わり方を考える。		○	
	11	第5章共に生き、共に支える 第6章食生活をつくる	・支え合う社会の構造や多様性を理解し、個人や地域の 役割を考える。	○		
	12		・栄養の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性を理解 し、ライフステージに応じた食生活を計画・管理できる。	○		○
3 学期	1	第8章住生活をつくる	・住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。 ・消費生活の意思決定の重要性と情報の活用について理 解する。	○		
	2	第9章経済生活を営む	・多様化する販売方法や支払い方法の仕組みを知り、契 約の重要性を理解する。	○		
	3	第10章持続可能な生活を営む 第11章これからの生活を創造 する	・持続可能な消費や生活を理解し、ライフスタイルを工 夫する。 ・各ライフステージの課題や生活資源、リスク管理につ いて振り返りながら生活設計ができるようになる。		○	○

評価の方法

学習意欲、授業態度、学期毎の考査や課題などの提出状況、実験・実習などの取り組みや作品のできばえ